

大阪環状線における信号トラブルの原因と対策について

2023年3月25日（土）に大阪環状線 大正～弁天町駅間での信号トラブルにより、列車の遅れを発生させた事象について、原因と対策をお知らせいたします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2023年3月25日（土）18時24分頃

2 発生場所

大阪環状線 大正 ～ 弁天町駅 駅間

3 列車名

大和路快速電車（外回り） 8両編成

奈良（17時45分）発 大阪経由 天王寺（19時04分）行

ご乗車のお客様：約500名

4 概況

18時24分頃、大阪指令所の指令員は、モニター画面にて異常を認めました。そのため、大阪環状線（外回り）・JRゆめ咲線で運転を見合わせていましたが、JRゆめ咲線の上下線は19時38分に運転を再開し、大阪環状線（外回り）は、20時15分に本数わずかで運転を再開しました。

その後、22時22分に復旧作業が完了し、同時刻に通常速度で運転を再開しました。

※当該電車のお客様には大正駅で降車いただき、回送電車として信号の確認を行いました。

5 列車影響

<運休>計122本（内回り60本、外回り62本 部分運休含む）

<遅れ>外回り電車 [天王寺（19時27分）発 大阪経由 天王寺（20時11分）行] が130分遅れたのを最大に、計58本（内回り28本、外回り30本）に130分～5分の遅れ

影響人員：約62,000人

6 原因

列車が走行した際に発生する電流を変電所に戻すための機器（インピーダンスボンド）の内部に水分が侵入したことで内部の部品が腐食し、機能を維持できなくなり、信号が正しく現示されなかったためです。

7 対策

- ・同じ形式の設備の緊急点検を実施し、水分が侵入している箇所については部品を取り替えました。
- ・定期的な検査において、水分の侵入の有無を確認するとともに、計画的に腐食しにくい部品への取替を進めていきます。